

デザイン・プロセス・動画監修 / 米永真由美

【出来上がりサイズ】※置き寸 丈：約 78cm

※ウエストはゴムの長さで調整できます



【材料】

生地：2m(110cm 幅)
ミシン糸

・製図の時に。ロールタイプで使いやすいハترون紙

39-321 ハترون紙ロールタイプ <7m 巻>

<https://clover.co.jp/products/39321>

【用具】

あると便利な用具

・ぬいしろに切り込みを入れる時などに

36-666 カットワークはさみ 115

<https://clover.co.jp/products/36666>

・間違えた縫い目をほどく時に

21-511 N- リッパー

<https://clover.co.jp/products/21511>

・角(かど)出しの時に

21-131 N- なめらか目打

<https://clover.co.jp/products/21131>

・製図の時に

39-211 ファブリックウェイト

<https://clover.co.jp/products/39211>

・長い直線を描く時にも

25-204 まんまるメジャー

<https://clover.co.jp/products/25204>

★型紙やチャコピーを切るための紙を切るはさみ

布を切るはさみで紙を切ると、切れが悪くなったりするため、布切はさみと紙切はさみは分けてください。

25-052 方眼定規 <50cm>

<https://clover.co.jp/products/25052>

21-041 N- ソフトルレット

<https://clover.co.jp/products/24041>

24-153 クロバーチャコピー両面 <黄>

<https://clover.co.jp/products/24153>

※グレー・白・青・ピンクもあります

24-412 水性チャコペン <青・細>

<https://clover.co.jp/products/24412>

36-191 布切はさみ「ブラック」

<https://clover.co.jp/products/36191>

22-735 シルク待針 <耐熱>

<https://clover.co.jp/products/22735>

57-702 マグネットピンクッション

<https://clover.co.jp/products/57702>

36-395 糸切はさみ「ブラック」(黒刃)

<https://clover.co.jp/products/36395>

25-057 アイロン定規

<https://clover.co.jp/products/25057>

37-188 ぬいしろガイド
<位置決めプレート付き>

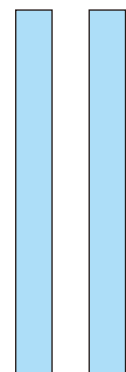
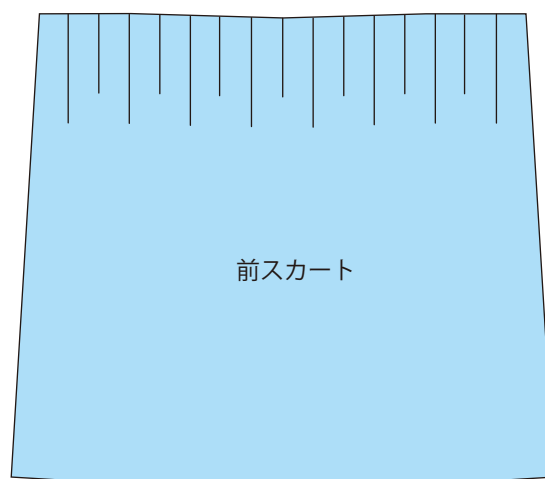
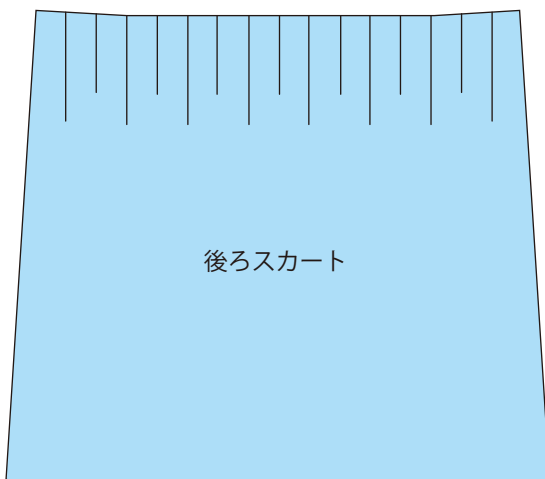
<https://clover.co.jp/products/37188>

【作り方】

1 製図と裁断、しるし付け

型紙作り、裁断までの準備は「型紙の作り方」と「裁断の方法」PDF をご覧ください。

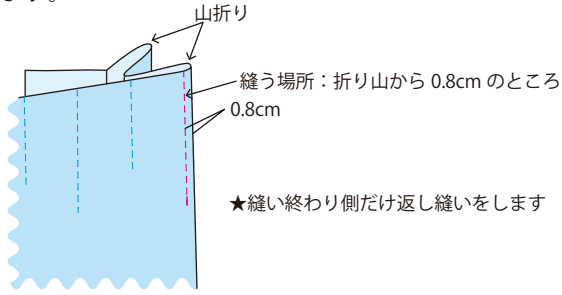
裁断するときは、生地とはさみは持ち上げずに切ってください。



ベルト
(2枚)

2 ピンタックを縫う

あらかじめ付けておいた印を“山”になるようにアイロンで折ります。



0.8cm 幅でピンタックを縫います。
ぬいしろガイドには 0.8cm の目盛がありませんので、
・0.7cm の目盛で位置決めプレートをセットし、1mm プラスした位置にぬいしろガイドをセット
または、
・定規をあてて 0.8cm を測る方法でセットします。

※この作品では、できあがり線を描いていませんので、縫う時は「ぬいしろガイド〈位置決めプレート付〉」を使います。



縫い終わり側だけ返し縫いをし、ピンタックが縫えたら、縫い目から右側に折り、アイロンでしっかり倒します。

スカートの中心とベルトの中心に、小さな切れ目を入れておきます(中心の合印)。

★タックの端の糸始末

タックの縫い終わり側を糸始末しておく、ほつれてくるのを防げます。

糸始末をするためには、糸は長めに残しておきます。

【糸始末の方法】

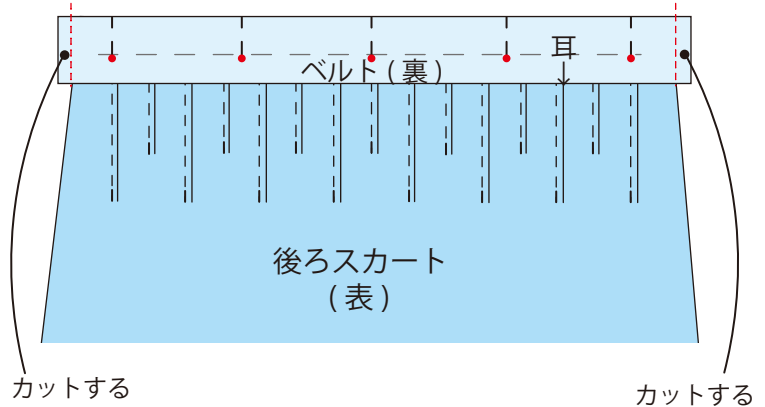
- ① 奥(ピンタックの表)側に出ている糸を、目打を使って手前(ピンタックの裏)側に引き出す。
- ② 2本一緒に束ね、目打で玉結びの根元を押さえながら結ぶ。
- ③ 糸端を2本一緒に縫い針に通し、タックの空間に隠すように通す。
- ④ 少し引っ張ると玉結びがタックの中に隠れるので、2~3cm くらい先から針を出し、残った糸を切る。

QR

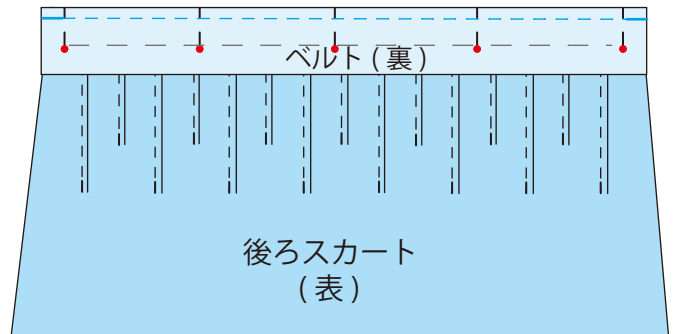
※詳しいやり方は、動画で確認してください。

3 ベルトとスカートを縫い合わせる

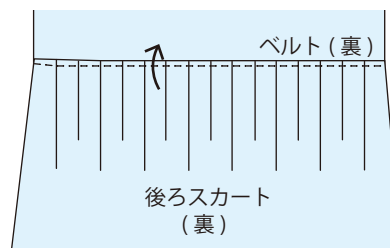
- ① ベルト布を半分に折ってアイロンで折型を付けてから、スカートと中表にして待針でとめます。待針でとめる時、生地「耳」は下側にします。ベルトは長めに設定してあるので、左右の端からはみ出した分はカットします。



- ② 余ったベルトをカットしてから縫います。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。



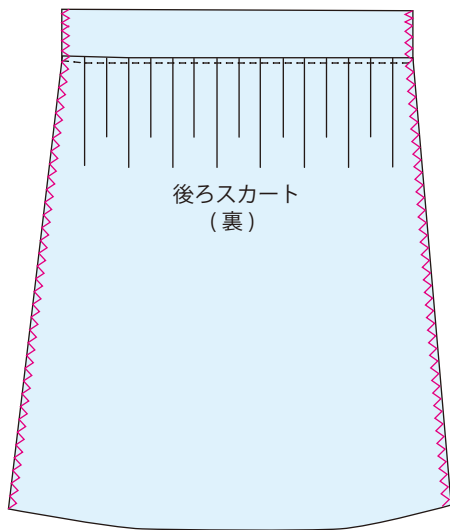
③ ぬいしろの処理



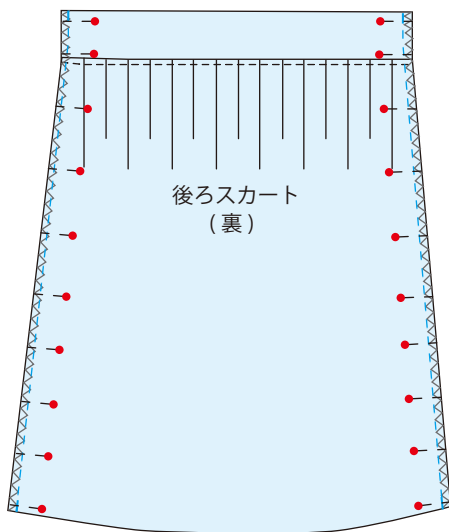
ぬいしろはアイロンで整えてから上(ベルト側)に倒します。

4 前後スカートを縫い合わせる

① 前後スカートの両脇のぬいしろにジグザグミシンをかけます。

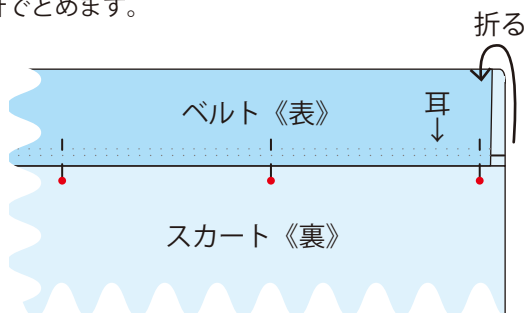


② 前後スカートを中表に合わせて待針でとめ、端から 1.5cm のところを縫います。
縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。
縫い合わせたら、ぬいしろは割っておきます。



5 ベルトのゴム通し口を残して縫う

① 付けておいた折型で折ってアイロンで整えてから、耳側を待針でとめます。



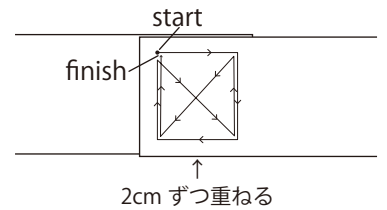
② ゴム通し口を 4 cm ほど開けて縫います。
縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。
ゴム通し口を縫った時に目立たないように、左右どちらかの脇あたりから縫い始めます。

③ ゴムを通して、ゴム端を下図のように縫い合わせます。

ゴムの長さは

ウエストサイズ $\times 0.9 + 2\text{cm}$

で計算します。



【例】ウエスト 63cm の場合

$63\text{cm} \times 0.9 = 56.7$

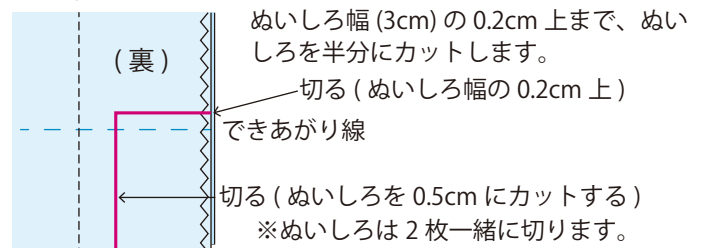
プラス 2cm

で、58.7cm になりますが、半端なので切り上げて「59cm」用意します。

④ ゴム通し口を縫います。
ベルトとスカートを縫い合わせた線に重ねるように縫います。
縫いはじめと縫い終わりは返し縫いをします。

6 裾の処理

① 余分なぬいしろをカットする



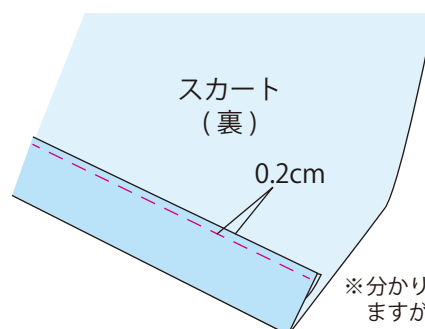
② 三つ折りにする

アイロン定規を使って、三つ折りにします。
まず 3cm 折ってその後 1cm 折り込みます。

10 ~ 15cm おきくらいに、待針でとめます。

③ 折山から 0.2cm のところを一周縫う

折山から 0.2cm のところを一周縫います。
縫い終わりは縫い始めに重ねます。



※ 分かりやすいように分けて描いていますが、実際は繋がっています。